標準アプリ

連絡先を利用する 146
連絡先を登録する 146
連絡先の内容を確認する 146
お気に入りを利用する 147
連絡先をほかの機器とやり取りする 147

スターメモを利用する 150
スターメモを作成する 150
保存したメモを表示／再生する 151

ワンセグを見る／録画する 152
ワンセグを見る 153
ワンセグの視聴予約／録画予約を行う 155
ワンセグを録画する 156
ワンセグの機能を設定する 156
地デジ番組を再生する 157

カメラで撮影する 158
カメラをご利用になる前に 158
撮影画面の見かた 159
静止画を撮影する 159
動画を撮影する 161

静止画や動画を楽しむ 162
静止画や動画を再生する 162
静止画を壁紙や連絡先の顔写真に設定する 162
静止画や動画を共有する 163
マイコレクションで画像を管理する 163
静止画を編集する 164
テレビに表示する 165

音楽を楽しむ 165
音楽プレイヤーで音楽を楽しむ 165
LISMOで音楽を楽しむ 166

FMトランスミッタを利用する 167
FMトランスミッタの周波数を設定する 167
FMトランスミッタで音声を出力する 167

DLNA対応機器と連携させる 167
DLNA対応機器のコンテンツをISW11Fで再生する 167
ISW11FのコンテンツをDLNA対応機器で再生する 168

PDFファイルやMicrosoft Office文書を閲覧する 170

電卓を使う 171

指定時刻にアラームを鳴らす 171
アラームの設定を変更する 172
スッキリ目覚まし機能を利用する 172

モシモカメラを利用する 172
モシモカメラの使いかたを見る 172

au one ナビウォークを利用する 173
au one ナビウォークを設定する 173

au one ニュースEXを利用する 173
au one ニュースEXのメニューを利用する 173

KSfilemanagerを利用する 174

連絡先を利用する

連絡先には電話番号やメールアドレス、インターネット通話などの情報を入力できます。連絡先に登録した人に連絡したり、au one Friends Noteを利用したりできます。

連絡先を登録する

ここでは連絡先に新規登録する操作を説明しています。

1 ホーム画面で→「連絡先」

連絡先一覧が表示されます。

2 →「連絡先を新規登録」

- 「連絡先」か「au one Friends Note」のどちらのアプリに登録するかを選択できます。常に同じアプリに連絡先を登録する場合は、「常にこの操作で使用する」にチェックを付けてから、アプリを選択します。
- アカウントを選択するポップアップメニューが表示されたときは、連絡先を登録するアカウントを選択します。

3 必要な項目を入力

- 各項目の右側の「＋」または「－」をタップすると、項目を追加／削除できます。
- 項目によっては、項目のタイトル（ラベル）をタップすると、ラベルを変更できます。

4 「完了」

memo

◎「アカウントと同期の設定をする」（▶P.197）を利用してGoogleアカウントと同期すると、自動的にグループが登録されます。また、「Myコンタクト」「友達」「家族」「同僚」のグループ名の編集や削除はできません。
◎本体およびGoogle以外のアカウントには、グループの作成や削除、編集などを行うことはできません。

◎連絡先一覧で「グループ」→→「グループを新規登録」→必要な項目を入力→「完了」をタップすると、新規でグループを作成できます。

連絡先の内容を確認する

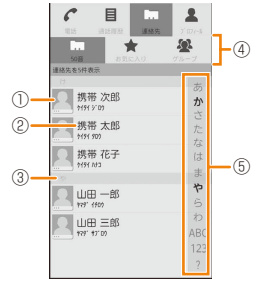
1 連絡先一覧で50音インデックスをタップ

- →「検索」→検索する名前（姓名、フリガナ）を入力すると、連絡先を検索できます。

2 確認する連絡先をタップ

個人情報画面が表示されます。

■連絡先一覧について



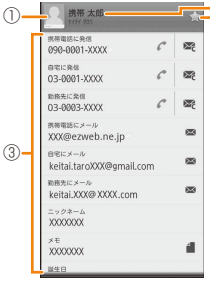
《連絡先一覧》

① **顔写真**
タップするとアイコンが表示され、電話発信、Cメール作成、Eメール作成などができます。
② **名前**
タップして個人情報画面を表示します。ロングタッチすると、電話発信、Cメール作成、お気に入りへ登録、連絡先の編集／削除などができます。
③ **インデックスバー**
④ **50音／お気に入り／グループタブ**
⑤ **50音インデックス**
タップした文字のインデックスバーにジャンプします。

memo

◎連絡先一覧で→を押すと、連絡先の新規登録や検索、選択削除などができます。

■個人情報画面について



《個人情報画面》

① **顔写真**
タップするとアイコンが表示され、電話発信、Cメール作成、Eメール作成などができます。
② **名前**
③ **個人登録情報**
表示される項目は、連絡先の登録内容によって異なります。
項目をタップまたはロングタッチすると、電話発信、Cメール作成、Eメール作成などができます。
④ **お気に入り**
☆(グレー)をタップすると、★(黄色)に変わり、お気に入りに登録できます。

memo

◎個人情報画面で[≡]を押すと、連絡先の編集／削除、赤外線送信などができます。

表示する連絡先を設定する

電話番号のある連絡先のみ表示したり、特定のアカウントやGoogleアカウントのグループに含まれる連絡先の表示／非表示を設定できます。

1 連絡先一覧で[≡]→「表示オプション」

2 表示する連絡先のグループにチェックを付ける
・チェックを付けたグループに含まれる連絡先が表示されます。

お気に入りを利用する

よく利用する連絡先をお気に入りに登録すると、相手にすばやく電話をかけることができます。

1 連絡先一覧で「お気に入り」

2 電話をかける相手の欄の をタップ

お気に入りに連絡先を登録する

1 連絡先一覧で連絡先をタップ
個人情報画面が表示されます。

2 ☆(グレー)をタップ
・☆(グレー)が★(黄色)に変わり、お気に入りに登録されます。

memo

◎お気に入りから連絡先を削除するには、個人情報画面でもう一度★(黄色)をタップ、または連絡先一覧で削除する連絡先をロングタッチ→「お気に入りから削除」をタップします。

連絡先をほかの機器とやり取りする

赤外線通信で連絡先を送受信する

赤外線通信機能を持つほかのau電話などとの間で、連絡先やプロフィールなどを送受信できます。

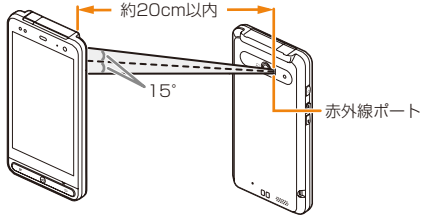
memo

◎赤外線通信では、静止画も送受信できます。詳しくは、「静止画や動画を共有する」(▶P.163)をご覧ください。

■赤外線の利用について

赤外線の通信距離は約20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が完了するまで、赤外線ポートを向き合わせたまま動かさないでください。

赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。



memo

◎赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。
◎直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎相手側の機器によっては、連絡先の送受信がしにくい場合があります。
◎赤外線通信を利用中は、Bluetooth®は利用できません。

■赤外線通信で連絡先を受信する

赤外線通信で連絡先を受信して登録します。

■1件受信する場合

1 ホーム画面で⊞→「赤外線」

2 「1件受信」→「追加」→「OK」

- アカウントを選択するポップアップメニューが表示されたときは、連絡先を登録するアカウントを選択します。

memo

◎ホーム画面で⊞→「設定」→「無線とネットワーク」→「赤外線受信」をタップしても、赤外線受信できます。

■全件受信する場合

1 ホーム画面で⊞→「赤外線」

2 「全件受信」→入力欄をタップ→4桁の認証パスコードを入力→「受信」

3 「追加」／「上書き」→「OK」

- アカウントを選択するポップアップメニューが表示されたときは、連絡先を登録するアカウントを選択します。
- 「スキップ」をタップすると、連絡先への登録を中止します。

memo

◎ホーム画面で⊞→「連絡先」→☰→「インポート／エクスポート」→「全件インポート(赤外線)」→入力欄をタップ→4桁の認証パスコードを入力→「受信」→「追加」／「上書き」→「OK」をタップしても、全件受信できます。
◎全件受信した場合は、「プロフィール」も更新されます。

■赤外線通信で連絡先を送信する

1 連絡先一覧で送信する連絡先をタップ

・ホーム画面で▦→「連絡先」→「プロフィール」→(☰)→「赤外線送信」をタップすると、お客様の連絡先を送信できます。

2 (☰)→「赤外線送信」

memo

◎全件送信する場合は、ホーム画面で▦→「連絡先」→(☰)→「インポート／エクスポート」→「全件エクスポート(赤外線)」→入力欄をタップ→4桁の認証パスコードを入力→「送信」をタップします。
◎全件送信した場合は、「プロフィール」も送信されます。

Bluetooth®通信で連絡先を送信する

登録されている連絡先をBluetooth®通信で送信します。

・あらかじめISW11FのBluetooth®機能をオンにしてください。また、相手のBluetooth®対応機器とペア設定を行ってください。詳しくは、「ほかのBluetooth®対応機器と接続する」(▶P.186)をご参照ください。

1 連絡先一覧で送信する連絡先をタップ

2 (☰)→「共有」→「Bluetooth」

・Bluetooth®機能がオフの場合は、「ONにする」をタップします。

3 Bluetooth端末リストで相手のBluetooth®対応機器をタップ

・相手のBluetooth®対応機器によっては、受信を許可するなどの操作が必要な場合があります。
・ステータスバーに↥が表示されたら、ステータスバーを下にドラッグして送信が完了したことを確認します。

memo

◎Bluetooth®を利用中は、赤外線通信は利用できません。
◎他のau電話との間で連絡先データの全件送受信をしたい場合は、赤外線通信で送受信してください(▶P.147)。

連絡先をmicroSDカードにバックアップ／レストア(復元)する

1 連絡先一覧で(☰)→「インポート／エクスポート」

2 項目を選択し、それぞれの操作を行う

レストア(SDカード)	microSDカードにバックアップした連絡先データ(vCardファイル)をレストアします。ファイルが複数ある場合は、レストアするファイルを選択します。
バックアップ(SDカード)	「プロフィール」を除く連絡先データを、microSDカードに全件バックアップします。

memo

◎アカウントを変更したい場合は、連絡先をmicroSDカードにバックアップし、ISW11F内の連絡先の削除後、microSDカードにバックアップしたデータをレストアしてください。レストアの開始時に、連絡先を登録するアカウントを選択することができます。

スターメモを利用する

スターメモを使用して、テキストメモ、手書きメモ、写真メモを作成できます。作成したメモはmicroSDカードに保存されます。スターメモを利用する際は、ISW11FにmicroSDカードを取り付けてください。

スターメモを作成する

1 ホーム画面で→「スターメモ作成」

2 作成するメモのタブをタップ

テキスト	文章を入力します。 ・全角／半角2,000文字まで入力できます。
手書き	指で画面をなぞって絵や文字を描きます。 ・「元に戻す」をタップすると、直前の操作を取り消し、「やり直し」をタップすると、直前の操作をやり直すことができます。 ・「色」をタップすると、色を変更できます。 ・「太さ」をタップすると、線の太さを変更できます。 ・「消しゴム」をタップすると、指で画面をなぞって絵や文字を消去できます。「ペン」をタップすると入力状態に戻ります。
写真	をタップして写真を撮影します。 ・「撮り直し」をタップすると、写真を撮り直すことができます。

3 メモを作成

4 メモの利用方法に合わせてタブをタップ

保存	メモをmicroSDカードに保存して終了します。
投稿	au one Friends Noteを利用してメモを投稿します。
メモ削除	メモを破棄します。

・メモ作成中に→「Eメールへ記入」をタップしてEメールを起動したり、「共有」をタップしてBluetooth®通信で送信したり、オンラインサービスにアップロードしたりできます。

memo

◎メモ作成中に「メモ一覧」をタップすると、作成中のメモが保存され、スターメモ一覧画面が表示されます。
◎閲覧中のWebページをスターメモに登録することもできます。（▶P.83「Webページをスターメモに登録する」）

保存したメモを表示／再生する

ISW11Fに保存したテキストメモや手書きメモ、写真メモ、スターメモに登録したWebページを確認できます。

1 ホーム画面で→「スターメモ」

《スターメモ一覧画面（全アイテム表示）》

① **メモ**
② **タブ**
③ **新規作成ボタン**
タップしてスターメモを作成します。
④ **削除アイコン**
タップしてメモを削除します。

2 タブをタップして、情報を絞り込む

3 表示するメモをタップ

詳細画面が表示されます。

■詳細画面の操作について

タブ	操作
編集	編集する
ブラウザ	サイトに接続する
削除	削除する

※表示されるタブはメモの種類によって異なります。

memo

◎スターメモ一覧画面で→「全て削除」→「はい」をタップすると、アイテムをまとめて削除できます。
◎詳細画面で→「共有」をタップすると、メールやBluetooth®通信で送信したり、オンラインサービスにアップロードしたりできます。
◎手書きメモの詳細画面で→「閲覧」または写真メモの詳細画面で→「再生」をタップすると、ギャラリーから表示できます。

ワンセグを見る／録画する

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

■ワンセグ利用時のご注意

- ワンセグの利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- ワンセグは日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送、地上アナログ放送を見ることはできません。
- ワンセグ画面表示中は、ISW11Fが温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- ワンセグの音声は、FMトランスミッタで出力できません。

■電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

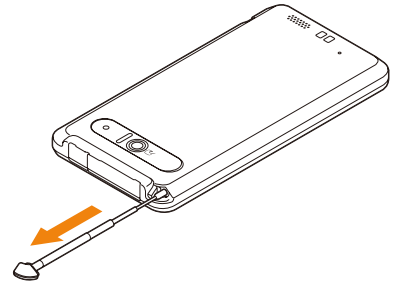
電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■ワンセグアンテナについて

ワンセグを視聴および録画する際は、放送波を十分受信できるようにワンセグアンテナを伸ばしてご利用ください。

1 ワンセグアンテナの先端を引き出し、最後までしっかり伸ばす



- ワンセグアンテナの向きを変える場合は、アンテナの根元を持ち、方向をよく確認して向きを変えてください。

・ワンセグアンテナを収納する場合は、アンテナを縮めて、まっすぐ上に向けてから収納してください。

memo

◎ワンセグアンテナの向きを変えたり、ISW11Fを体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。
◎ワンセグ視聴時以外ではアンテナを収納してください。アンテナを引き出したままで通話などをすると、顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

ワンセグを見る

1 ホーム画面で ⊞→「テレビ」

ワンセグ視聴画面が表示されます。
・初めて起動したときは、使用許諾を読んで「同意する」をタップし、地域一覧から視聴する地域を選択して、チャンネルリストを作成します。

memo

◎ワンセグは、起動時に電池残量が少ないと起動できません。
◎ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
◎電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
◎「動画補正」(▶P.193)をオンにすると、高画質化エンジンを使用して視聴できます。

ワンセグ視聴画面について

縦画面表示にするとデータ放送が表示されます。

《ワンセグ視聴画面》

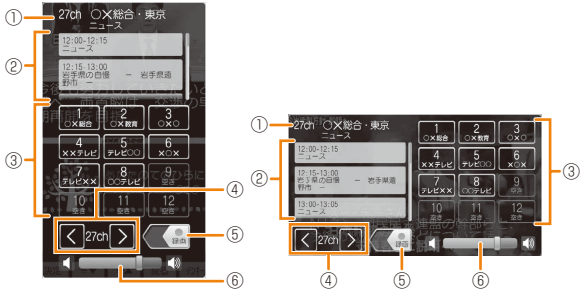
① **テレビ映像エリア**
タップしてテレビ操作画面の表示／非表示を切り替えます。
左右にフリックして選局します。
② **字幕表示エリア**
③ **データ放送エリア**
④ **データ放送の操作ボタン**

memo

◎データ放送エリア内を直接タップして操作できないときは、画面下部の操作ボタンをタップして操作してください。
◎テレビ映像エリアまたは字幕表示エリアをロングタッチすると、横画面表示または縦画面表示に固定することができます。固定すると一定時間🔑が表示されます。固定を解除するには、テレビ映像エリアまたは字幕表示エリアをロングタッチします。

■テレビ操作画面について

ワンセグ視聴画面でテレビ映像エリアまたは字幕表示エリアをタップすると、テレビ操作画面の表示／非表示を切り替えられます。



《テレビ操作画面》

① **チャンネル、放送局名、番組名**

② **視聴中のチャンネルの番組表**
タップすると、番組内容を確認できます。
ロングタッチすると、視聴予約／録画予約ができます。

③ **選局ボタン**

④ **チャンネル切り替えボタン**
ロングタッチすると、チャンネルサーチを実行できます。

⑤ **録画開始／終了スイッチ**
左にドラッグすると、録画が始まります。録画中に右にドラッグすると、録画が終了します。

⑥ **音量調節バー**
左右にドラッグすると、音量を調節できます。

■ワンセグ視聴画面／テレビ操作画面でのキー操作について

▲:音量大／1秒以上押して選局
▼:音量小／1秒以上押して選局

テレビリンクを利用する

番組によっては、データ放送に関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。ISW11Fにテレビリンクを登録すると、あとで関連サイトに接続できます。

■ISW11Fにテレビリンクを登録する

1 データ放送エリアでテレビリンク登録可能な項目を選択

・テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

memo

◎リンク先によってはテレビリンクを登録できないことがあります。

■登録したテレビリンクを表示する

1 ワンセグ視聴画面で≡→「TVリンク」

2 テレビリンクをタップ

登録されたサイトに接続します。

・テレビリンクをロングタッチ→「削除」→「はい」をタップすると、テレビリンクを削除できます。

memo

◎テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。

Twitterを利用する

ワンセグを視聴しながらTwitterを起動し、タイムラインを見たり、ツイートの投稿ができます。

1 ワンセグ視聴画面で(≡)→「Twitter起動」→「OK」

ワンセグの視聴予約／録画予約を行う

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

1 ワンセグ視聴画面で(≡)→「視聴予約／録画予約」
録画／視聴予約画面が表示されます。

2 「録画予約」／「視聴予約」→(≡)→「新規予約」

3 必要な項目を設定

4 「完了」

memo

◎au one テレビ.Gガイドアプリケーションから番組を選択して、録画予約することもできます。

■予約した時刻になると

「ワンセグの機能を設定する」(▶P.156)で設定した時間にアラーム通知画面が表示され、アラーム音や振動でお知らせします。

memo

◎予約した時刻にISW11Fの電源を切っている場合は、予約を実行できません。
◎手動で録画を行っている際に別の予約録画の開始時刻になった場合は、現在の録画は終了し、予約録画が開始されます。
◎ワンセグの視聴予約／録画予約の時刻には、必ずカメラを終了しておいてください。カメラを利用中の場合、ワンセグ録画に失敗したり、カメラの録画が自動的に停止したりします。

予約内容を確認する

1 ワンセグ視聴画面で(≡)→「視聴予約／録画予約」→「録画予約」／「視聴予約」
録画予約一覧／視聴予約一覧が表示されます。

2 確認する予約をタップ
予約の詳細画面が表示されます。

memo

◎録画予約一覧／視聴予約一覧で予約をロングタッチ→「予約を編集」／「予約を削除」をタップすると、予約を編集／削除できます。

録画予約の結果を確認する

1 ワンセグ視聴画面で(≡)→「視聴予約／録画予約」→「録画予約結果」
予約結果一覧が表示されます。

2 確認する予約をタップ

memo

◎予約結果一覧で☰→「全件消去」をタップすると、予約を全件削除できます。

ワンセグを録画する

視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画してmicroSDカードに保存します。

1 テレビ操作画面で 録画 を左にドラッグ

録画が開始されます。

2 録画 を右にドラッグ

録画が終了します。

memo

◎microSDカードはISW11Fでフォーマットしてからご利用ください(▶P.177)。
◎録画を開始するにはmicroSDカードの空き容量が10MB以上、電池残量が20%以上必要です。
◎録画中に以下のいずれかの状態になると、録画が自動で停止します。
・microSDカードの空き容量が2MB以下
・電池残量が10%以下
・録画開始から6時間経過
◎録画したテレビ番組は、著作権保護が設定されているデータとして保存されます。お使いになるメールの種類によっては、メールに添付し送付できますが、受け取った相手で再生することはできません。
◎録画時間が極端に短い(10秒以下)場合は、再生することができません。
◎受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
◎録画中は、チャンネル切り替えはできません。
◎録画中に他のアプリケーションを起動すると、正常に録画できない場合があります。
◎録画中は静止画や動画の撮影を行えません。
◎録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
◎録画中にmicroSDカードのマウントを解除すると、録画に失敗したり、microSDカード内のデータが破壊されるおそれがあります。
◎録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

録画した番組を再生する

1 ワンセグ視聴画面で☰→「録画リスト」

2 録画データをタップ

・前回途中で再生を終了した場合は、続きから再生されます。

memo

◎⏮／⏭をタップすると、約5秒戻す／約15秒進めることができます。また、ロングタッチすると連続巻き戻し／連続早送りすることができます。
◎⏸／▶をタップすると、一時停止／再生することができます。
◎▶1.5倍速をタップすると、音声付きで1.5倍速再生ができます。

ワンセグの機能を設定する

1 ワンセグ視聴画面で☰→「設定」

2 項目を設定

memo

◎「なめらかモード」にチェックを付けると、映像がなめらかに表示されますが、電池の消費が増え、視聴できる時間が短くなります。

チャンネルを設定する

■チャンネルリストを作成する

1 ワンセグ視聴画面で(≡)→「設定」→「チャンネル設定」→「チャンネルリスト編集」

2 「未設定」をロングタッチ→「作成」

3 項目を選択

■チャンネルリストを切り替える

1 ワンセグ視聴画面で(≡)→「設定」→「チャンネル設定」→「チャンネルリスト切替」

2 受信するチャンネルリストをタップ

■放送局をチャンネルリストに追加する

1 テレビ操作画面でチャンネルサーチ(▶P.154)

2 未登録の放送局が見つかったら(≡)→「設定」→「チャンネル設定」→「チャンネル追加」→「はい」→「OK」

■チャンネルリストから放送局を削除する

1 ワンセグ視聴画面で(≡)→「設定」→「チャンネル設定」→「チャンネルリスト編集」

2 編集するチャンネルリストをタップ

3 (≡)→「削除」

4 削除する放送局をタップ

5 「削除」→「はい」

■チャンネルボタンの割り当てを変更する

1 ワンセグ視聴画面で(≡)→「設定」→「チャンネル設定」→「チャンネルリスト編集」

2 編集するチャンネルリストをタップ

3 (≡)→「並べ替え」

4 をドラッグしてリストを並べ替え

5 「完了」

地デジ番組を再生する

microSDカードに書き込んだ地デジ放送番組を、ISW11Fでも高画質(VGAクラス)で視聴することができます(地デジ持ち出し)。

1 microSDカードに地デジ放送番組を書き込む

2 microSDカードをISW11Fに取り付ける

3 ホーム画面で→「テレビ」→(≡)→「録画リスト」

4 地デジ番組を選択

memo

◎地デジ放送番組をmicroSDカードに書き込むときは、別売のSDカード変換アダプタなどを使用して行ってください。

カメラで撮影する

ISW11Fに内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。撮影した静止画／動画はmicroSDカードまたは内蔵ストレージに保存され、「ギャラリー」(▶P.162)などで閲覧できます。

カメラをご利用になる前に

カメラを利用する際は、ISW11FにmicroSDカードを取り付けてください。microSDカードについては、「microSDカードを使う」(▶P.176)をご参照ください。

撮影するときのご注意

- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりする場合があります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりますのでご注意ください。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- 不安定な場所にISW11Fを置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどしてISW11Fが落下するおそれがあります。
- 待機中に約2分間操作をしないと、カメラは終了します。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがあります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。
- 接写をするときは、被写体とレンズの距離を約10cmにしてください。

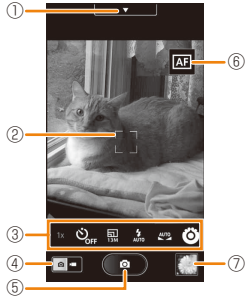
著作権・肖像権について

ISW11Fを利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影画面の見かた

静止画は、横向きと縦向きのどちらでも撮影できます。動画は、横向きで撮影できます。



《静止画撮影画面》

《動画撮影画面》

① **メニュー表示用タブ**

② **フォーカス枠**
ピントを合わせる位置を示しています。
「タッチオートフォーカス」が「ON」に設定されているときは、ピントを合わせる位置をタップするとフォーカス枠を移動できます。

③ **撮影設定メニュー**

④ **撮影モード(静止画／動画)切り替えスイッチ**

⑤ **シャッター／録画開始／録画停止**

⑥ **自動シーン認識アイコン**

⑦ **撮影履歴**

静止画を撮影する

1 ホーム画面で ⋮⋮⋮ →「カメラ」

- 動画撮影画面が表示されたときは、撮影モード(静止画／動画)切り替えスイッチをタップして静止画撮影画面を表示してください。

2 静止画撮影画面に被写体を表示

- 「タッチオートフォーカス」が「ON」の場合は、ピントを合わせる位置または被写体をタップします。ピントが合うとフォーカス枠が緑色になります。
- 複数の人の顔を検出した場合は、ピントを合わせる人の顔をタップします。撮影の際、タップした顔にピントが合うとフォーカス枠が緑色になります。

3 [ ] をタップ

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が保存されます。

memo

◎静止画撮影画面で [≡] を押すと、以下の操作ができます。

動画撮影	動画撮影画面に切り替えます。
ギャラリー	撮影した静止画をギャラリーで確認します。
インカメラに切り替え／アウトカメラに切り替え	インカメラ／アウトカメラを切り替えます。
バーコードリーダーに切り替え	バーコードリーダーを起動します。

静止画撮影時の撮影設定メニューについて

静止画撮影画面でメニュー表示用タブをタップまたはスライドすると、以下の設定ができます。

撮影モード	撮影モードを選択します。 「通常撮影」「クイックショット」「無限連写」「ベストショットセレクト」 ・「無限連写」では、シャッターボタンを押している間、連続して静止画を撮影・保存し続けます。 ※データ保存先切替が「本体」の場合は、選択できません。 ・「ベストショットセレクト」では、撮影動作を行う前後の静止画が7枚撮影されます。撮影後、笑顔度や目つぶり、ブレなどの状態から判断されたベストショットが推薦されます。
エフェクト撮影	画像に特殊効果をかけることができます。
シーン別撮影	被写体や状況に合わせた撮影設定に切り替えます。 ・「自動シーン認識」では、最適なシーンに自動で切り替えます。QRコードを認識した場合は、自動的にデータを読み取ります。
笑顔シャッター	撮影対象の笑顔度が設定値に達したとき、自動的に撮影します。
位置情報を記録する	位置情報を記録する／しないを設定します。

静止画撮影画面で撮影設定メニューのアイコンをタップすると、以下の設定ができます。

・撮影設定メニューのアイコンは、選択した項目のアイコンが表示されます。

（各種設定）	をタップすると、以下の設定ができます。 「AFモード」「追跡フォーカス」「タッチオートフォーカス」「サーチミーフォーカス」「明るさ調整」「ちらつき調整」「データ保存先切替」「カメラ設定」 ・「サーチミーフォーカス」では、登録した顔が自動的に判別されて、名前が表示されます。 ※登録した顔は、優先的にピントや明るさが調整されます。 ※登録した顔が複数ある場合は、優先度の番号が若い人物の顔検出枠が赤色になります。
ホワイトバランス	周囲の光源に合わせて色合いを調整します。
フラッシュモード	フラッシュを設定します。
表示サイズ	画像サイズを設定します。
セルフタイマー	セルフタイマーを設定します。
ズーム	スライダーをドラッグしてズームを調整します。

memo

◎組み合わせによっては、選択できない項目があります。
◎インカメラでは設定できない項目があります。

動画を撮影する

1 ホーム画面で→「カメラ」→撮影モード（静止画／動画）切り替えスイッチをタップして動画撮影画面を表示

2 動画撮影画面に被写体を表示

3 （録画）をタップ

開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

4 （停止）をタップ

終了音が鳴り、撮影した動画が保存されます。

memo

◎動画撮影画面で（三）を押すと、以下の操作ができます。

静止画撮影	静止画撮影画面に切り替えます。
ギャラリー	撮影した動画をギャラリーで確認します。
インカメラに切り替え／アウトカメラに切り替え	インカメラ／アウトカメラを切り替えます。
バーコードリーダーに切り替え	バーコードリーダーを起動します。

動画撮影時の撮影設定メニューについて

動画撮影画面で撮影設定メニューのアイコンをタップすると、以下の設定ができます。

- 撮影設定メニューのアイコンは、選択した項目のアイコンが表示されます。

（各種設定1）	をタップすると、以下の設定ができます。 「AFモード」「明るさ調整」「色効果」「シーン別撮影」「ちらつき調整」「データ保存先切替」「カメラ設定」
ホワイトバランス	周囲の光源に合わせて色合いを調整します。
フラッシュモード	フラッシュを点灯する／しないを設定します。
（各種設定2）	をタップすると、以下の設定ができます。 「動画の画質」「サイズ選択」「録画音声」
セルフタイマー	セルフタイマーを設定します。
ズーム	スライダーをドラッグしてズームを調整します。

静止画や動画を楽しむ

カメラで撮影したりWebサイトからダウンロードしたりしてmicroSDカードまたは内蔵ストレージに保存した画像(静止画、動画)を、表示／再生したり、簡単な編集を行ったりすることができます。
ISW11Fでは、以下のファイルを開くことができます。

画像の種類	ファイル形式
静止画	JPEG、BMP、GIF、PNG
動画	WMV、H.264、H.263、MPEG4

静止画や動画を再生する

1 ホーム画面で→「ギャラリー」

アルバム選択画面が表示されます。

- をタップすると、カメラを起動できます。

2 アルバムをタップ

画像一覧画面が表示されます。

- 動画は が表示されます。
- をタップすると、すべての画像の一覧と日付別のアルバムを切り替えられます。日付別のアルバムをタップすると、すべての画像が表示されますが、選択した日付のアルバムの画像の枠は太く表示されます。

3 再生する静止画や動画をタップ

- 静止画の場合は、／ をタップして画像を拡大／縮小したり、「メニュー」をタップして、画像の共有や削除、詳細情報の確認などができます。
- 動画の場合は、画面をタップして表示されるキーやプログレスバーで、再生／一時停止、巻き戻し／早送りなどの操作ができます。音量は、で調節します。
- 画面を左右にフリックすると、前後の静止画や動画に切り替えることができます。

memo

◎画像一覧画面で画像をロングタッチすると、画像にチェックが表示され選択状態になります。続けて他の画像をタップすると、複数の静止画や動画を選択できます。「全選択」／「全解除」をタップすると、すべての画像を選択／解除できます。
◎画像が選択状態のときは、次の項目が利用できます。
- 共有:画像を共有
- 削除:画像を削除
- その他:詳細情報の確認や静止画を壁紙／連絡先へ登録、トリミング、回転など

静止画をスライドショーで再生する

1 ギャラリーで再生する静止画をタップ

2 「スライドショー」

- スライドショーを開始します。表示中に画面をタップするとスライドショーが終了します。

静止画を壁紙や連絡先の顔写真に設定する

1 ギャラリーで設定する静止画をロングタッチ

静止画にチェックが表示され、選択状態になります。

- ギャラリーで設定する静止画をタップ→「メニュー」をタップしても操作できます。

2 「その他」→「登録」

3 「壁紙」／「連絡先のアイコン」

- 「連絡先のアイコン」をタップした場合は、連絡先を選択します。

4 表示範囲を設定

- トリミング枠の内部をドラッグして位置を指定し、トリミング枠の角をドラッグして表示範囲を設定します。
- 「壁紙」を選択した場合、「ぴったり」をタップすると、画面サイズに合わせて表示範囲を指定できます。

5 「保存」

静止画や動画を共有する

静止画や動画を、Bluetooth®通信や赤外線通信、メールで送信したり、PicasaやYouTubeなどにアップロードしたりできます。また、静止画はスターメモに登録することもできます。

1 ギャラリーで共有する静止画や動画をロングタッチ

画像にチェックが表示され、選択状態になります。

2 「共有」

3 使用する機能をタップ

- 「スターメモ作成」をタップした場合は、スターメモ作成画面からメール送信やオンラインサービスにアップロードできます(▶P.150)。

memo

◎ ホーム画面で⊞→「赤外線」→「1件受信」→静止画を受信→「はい」→「OK」をタップすると、赤外線通信で静止画を受信できます。
◎ 赤外線通信で送信できるファイルは最大5MB、受信できるファイルは最大10MBです。

マイコレクションで画像を管理する

マイコレクションでは、画像を分類して表示します。同じ情報を持つ画像を集めたり(なかまコレクション)、アルバムを作成して画像の管理をしたりできます。

- なかまコレクションでは、撮影日、撮影場所、撮影人物(サーチミーフォーカスに登録済みの人物)、撮影シーン別に、表示中の画像と同じ情報を持つ画像を自動で集めて表示します。

1 ホーム画面で⊞→「マイコレクション」

2 カテゴリータブをタップ

写真&動画	写真と動画を日付別に表示します。「Pick up」(なかまコレクション)では、ランダムに選択された画像と、その画像と同じ情報を持つ画像の一部を表示します。 ・「写真&動画」をタップすると、表示する画像の種類を選択できます。 ・画像一覧でピンチして拡大/縮小ができます。
人物	サーチミーフォーカスに登録された人物ごとに分類して表示されます。 ・(≡)→「ソート」をタップすると、スマイル度順に並べ替えができます。
アルバム	▶P.164「アルバムを作成する」

3 画像をタップ

- 画像をタップすると、表示中の画像のなかまコレクションが表示されます。

memo

◎ 画像一覧で画像をロングタッチすると、画像にチェックが表示され選択状態になります。続けて他の画像をタップすると、複数の画像を選択できます。「全て選択」/「全て解除」をタップすると、すべての画像を選択/解除できます。

◎画像一覧または画像表示中に(≡)を押すと、次の項目が利用できます。
- 共有:画像を共有
- 削除:画像を削除
- アルバムに貼る:画像をアルバムに追加
- その他:表示順の変更やバックアップ、静止画の編集、静止画を壁紙へ登録、詳細情報の確認、スライドショーなど

アルバムを作成する

気に入った静止画や動画をまとめてアルバムを作成できます。アルバム内の画像にコメントを付けることもできます。

1 ホーム画面で⊞→「マイコレクション」→「アルバム」
アルバム一覧画面が表示されます。

2 「新規作成」

3 アルバム名入力欄をタップ→アルバム名を入力→表紙の色を選択

4 「新規作成」

5 作成したアルバムをタップ
アルバム表示画面が表示されます。

6 (≡)→「貼る」→追加する画像をタップしてチェックを付ける→「アルバムに貼る」

memo

◎アルバム表示画面で(≡)→画像をタップしてチェックを付ける→「その他」をタップすると、アルバムから画像をはがしたり、画像にコメントを付けたりできます。

静止画を編集する

静止画を編集して、静止画の回転やトリミングしたりすることができます。また、静止画にさまざまな効果を付けることもできます。

■静止画に効果を付ける場合

1 マイコレクションで編集する静止画をタップ

2 (≡)→「その他」→「画像編集」
静止画編集画面が表示されます。

3 編集内容を選択

4 編集が完了したら「編集完了」

memo

◎静止画の回転やトリミングをする場合は、ギャラリーで編集する静止画をロングタッチ→「その他」→「トリミング」/「左に回転」/「右に回転」をタップします。

テレビに表示する

ISW11Fをテレビに接続して、microSDカードまたは内蔵ストレージに保存されている画像や動画をテレビに表示することができます。接続にはHDMIケーブル(市販品)をご利用ください。

1 ホーム画面で→「設定」→「マルチメディア」→「HDMI設定」→「HDMI」

2 HDMIケーブル(市販品)でISW11Fとテレビを接続

3 ISW11F上で表示する画像／動画をタップ

memo

◎ホーム画面で→「設定」→「マルチメディア」→「HDMI設定」→「出力解像度設定」をタップすると、解像度を選択できます。
◎HDMI出力中はFMトランスミッタを起動できません。
◎テレビで再生する際、コンテンツによっては、全画面表示できない場合があります。また、ISW11Fのディスプレイが黒く表示される場合があります。

音楽を楽しむ

microSDカードまたは内蔵ストレージに保存した音楽を再生できます。

音楽プレイヤーで音楽を楽しむ

音楽プレイヤーを使用して、microSDカードまたは内蔵ストレージに保存した音楽を再生したり、プレイリストを作成したりできます。

・パソコンからmicroSDカードへ音楽ファイルを転送する方法については、「ISW11Fをリムーバブルディスクとして操作する」(▶P.177)をご参照ください。

音楽を再生する

1 ホーム画面で→「音楽」

2 「アーティスト」／「アルバム」／「曲」／「プレイリスト」／「ジャンル」

各カテゴリーのリスト画面が表示されます。
・「曲」のカテゴリーをタップした場合は、操作4に進みます。
・アイテムをロングタッチ→「再生」をタップすると、アイテム内の全曲が再生されます。
・プレイリストをロングタッチ→「削除」をタップすると、プレイリストが削除されます。曲は削除されません。

3 アイテムをタップ

4 曲をタップ

memo

◎音量は、[音量]で調節します。
◎microSDカードまたは内蔵ストレージに保存する際は、保存する場所に制限はありませんが、アルバムごとに曲を表示するために、アルバムごとにフォルダを作成することをおすすめします。

曲や曲に関連する情報を検索する

microSDカードまたは内蔵ストレージに保存されている曲を検索したり、曲に関連する情報を検索することができます。

1 ホーム画面で[ホーム]→「音楽」→カテゴリータブをタップ

2 アイテム／曲をロングタッチ→「検索」

■microSDカードまたは内蔵ストレージに保存されている曲を検索する場合

3 「音楽」

■YouTubeまたはブラウザで曲に関連する情報を検索する場合

3 「YouTube」／「ブラウザ」

プレイリストを作成する

1 再生画面で[メニュー]→「プレイリストに追加」

2 「新しいプレイリスト...」

・プレイリストが1件も作成されていない場合は、操作3に進みます。

3 入力欄をタップ→プレイリスト名を入力→「OK」

memo

◎プレイリストに曲を追加するには、再生画面で[メニュー]→「プレイリストに追加」をタップし、プレイリストを選択します。

LISMOで音楽を楽しむ

LISMO Playerを利用してmicroSDカードまたは内蔵ストレージに保存した音楽を再生したり、音楽コミュニティ「うたとも®」を利用したり、音楽情報を調べたりできます。

1 ホーム画面で[ホーム]→「LISMO Player」

・初めて起動したときは、アクセス許可画面の内容を確認して「閉じる」をタップします。続けて、サービス利用確認設定画面の内容を確認し、お客様の音楽再生情報／位置情報をサービス提供元に送信することを許可するかどうかを選択してください。

2 曲をタップ

memo

◎LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDなどの曲を転送できます。LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。
◎楽曲情報を持っていない曲が見つかった場合は、Gracenote®音楽認識サービスを利用して楽曲情報を自動的に取得します。
◎通信できない場合は、楽曲情報は取得できません。また、曲によっては楽曲情報が取得できない場合があります。
◎音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.com をご覧ください。

FMトランスミッタを利用する

LISMOなどで再生している音楽や音声をFM電波で送信し、FMチューナーを搭載しているカーステレオなどで聴くことができます。

FMトランスミッタの周波数を設定する

1 ホーム画面で ⊞→「設定」→「無線とネットワーク」→「FMトランスミッタ設定」

2 「周波数設定」→周波数を設定

FMトランスミッタで音声を出力する

1 ホーム画面で ⊞→「設定」→「無線とネットワーク」

2 「FMトランスミッタ」にチェックを付ける

3 受信側の機器で周波数を合わせる

memo

◎音量の調節は、受信機側の機器で行ってください。
◎「エリア設定」を「日本」以外に設定している場合やワンセグ視聴中、microUSBケーブル01（別売）でISW11Fとパソコンなどを接続している場合、FMトランスミッタを利用できません。
◎FMトランスミッタを利用中は、赤外線通信は利用できません。

DLNA対応機器と連携させる

ISW11FのmicroSDカードまたは内蔵ストレージに保存したコンテンツをDLNA対応のパソコンやテレビで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやネットワーク対応HDD（NAS）のコンテンツをISW11Fで再生できます。

- DLNA対応機器と連携するには、無線LAN（Wi-Fi®）接続が必要です。
- ISW11Fとすべての DLNA対応機器での連携を保証するものではありません。

DLNA対応機器のコンテンツをISW11Fで再生する

1 ホーム画面で ⊞→「DiXiM」→「視聴する」

DiXiM Player画面が表示されます。

2 「サーバー」→サーバーを選択→フォルダを選択

コンテンツ選択画面が表示されます。

3 再生するコンテンツを選択

memo

◎コンテンツをISW11Fで再生するには、DiXiM Player画面で「設定」→「タップ時の動作」→「この端末で再生」をタップします。
◎DLNA対応機器のコンテンツをISW11Fで再生するためには、あらかじめDLNA対応機器側でコンテンツを公開し、ISW11Fからのアクセスを許可してください。詳しくは、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
◎ISW11FはDTCP-IPに対応しているため、著作権保護技術（DRM）により保護されたコンテンツを再生できます。ただし、ISW11Fとすべての DTCP-IP対応機器での連携を保証するものではありません。また、コンテンツによっては、ISW11Fにて正しく再生できない場合があります。
◎コンテンツ選択画面でコンテンツをロングタッチ→そのまま下方向にスライドすると、コンテンツのダウンロードができます。ただし、著作権保護されたコンテンツはダウンロードできません。

デジタル録画番組を再生する

レコーダーなどのDLNA対応機器に録画したデジタル録画番組をISW11Fに保存し、再生できます。

- DLNA対応機器はコンテンツのアップロードに対応している必要があります。
- あらかじめDLNA対応機器からISW11Fへのアクセスを許可してください。

1 ホーム画面で→「DiXiM」→「設定する」

2 DLNA対応機器側でコンテンツをアップロード

- 「保存先設定」(▶P.169)で設定した保存先に、コンテンツが保存されます。

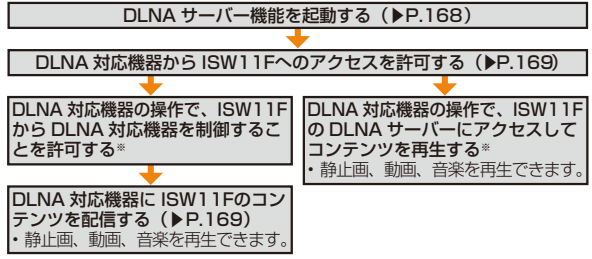
3 ホーム画面で→「DiXiM」→「視聴する」→「持ち出し番組」

4 再生するコンテンツを選択

ISW11FのコンテンツをDLNA対応機器で再生する

ISW11FのDLNAサーバー機能を起動して、ISW11Fのコンテンツを DLNA対応機器で再生できます。

■DLNA対応機器で再生するまでの流れ



※詳しくは、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。

ISW11FのDLNAサーバー機能を起動する

1 ホーム画面で→「DiXiM」→「設定する」

DLNAサーバー機能が起動します。起動すると、「DiXiM Server」にチェックが付き、ステータスバーにが表示されます。

- DLNAサーバー機能を終了するには、「DiXiM Server」をタップしてチェックを外します。

DLNA対応機器からISW11Fへのアクセスを許可する

1 ホーム画面で→「DiXiM」→「設定する」→「アクセス制御」

検出されたDLNA対応機器が、クライアント機器の一覧リストに表示されます。

2 ISW11Fへのアクセスを許可するDLNA対応機器にチェックを付ける

・DLNA対応機器をロングタッチ→「このクライアントを拒否」/「このクライアントを削除」をタップすると、DLNA対応機器のアクセスを拒否したり、DLNA対応機器を削除できます。

DLNA対応機器にISW11Fのコンテンツを配信する

・あらかじめ「DLNA対応機器で再生するまでの流れ」(▶P.168)に従って、ISW11FのDLNAサーバーを起動したり、DLNA対応機器側でISW11FからDLNA対応機器を制御することを許可してください。

1 DiXiM Player画面で「サーバー」→サーバーを選択→フォルダを選択

2 配信するコンテンツを選択

memo

◎DLNA対応機器によっては、配信したコンテンツを再生できない場合があります。
◎コンテンツをDLNA対応機器で再生するには、DiXiM Player画面で「設定」→「タップ時の動作」→「リモート機器で再生」→「リモート機器を選択」→リモート機器を選択します。

DLNAサーバー機能を設定する

1 ホーム画面で→「DiXiM」→「設定する」

2 必要な項目を設定

DiXiM Server		チェックを付けると、DLNAサーバー機能を起動し、DLNA対応機器にISW11F※が表示されます。 ※DLNA対応機器に表示される名称は、「サーバー名」で設定します。
サーバー名		DLNA対応機器に表示される名称を入力できます。
アクセス制御	アクセス権の初期設定	チェックを付けると、新しいDLNA対応機器が見つかったときにISW11Fへのアクセスを許可します。 チェックを外すと、「クライアント機器の一覧」でチェックを付けるまでISW11Fへのアクセスを禁止します。
	クライアント機器の一覧	▶P.169「DLNA対応機器からISW11Fへのアクセスを許可する」
保存先設定		DLNA対応機器からアップロードされるコンテンツの保存先を設定します。microSDカードまたは内蔵ストレージに保存できます。
画面ロック中の動作		チェックを付けると、画面ロック中でもDLNAサーバー機能の動作を継続します。

PDFファイルやMicrosoft Office文書を閲覧する

microSDカードまたは内蔵ストレージに保存しているOffice文書（Word、Excel、PowerPoint）、PDFファイル、テキストファイルを閲覧したりフォルダを確認したりできます。
以下のファイルを開くことができます。

サポートファイル	拡張子
docファイル（Word）	.doc、.docx
xlsファイル（Excel）	.xls、.xlsx
pptファイル（PowerPoint）	.ppt、.pptx
pdfファイル（PDF）	.pdf
txtファイル（テキスト）	.txt

1 ホーム画面で⊞→「Document Viewer」

2 ファイルの種類をタップ

・「サポートファイル」をタップすると、Document Viewerで表示できるすべてのファイルが一覧表示されます。

3 ファイルをタップ

・ページをスライドして見たい部分を表示します。
・ページをピンチアウト／ピンチインして、拡大／縮小できます。
・画面をスライドするとアイコンツールが表示され、前後のページ（シート）を表示したり、ズームや表示範囲を指定したりできます。

memo

◎microSDカードに保存する際は、保存する場所に制限はありません。
◎Office文書の表示内容が、パソコンでの表示と異なっていたり、文書の一部が表示されない場合があります。

閲覧時のオプションメニューについて

各ファイルの閲覧時に☰を押すと、ページの移動、文字列の検索、テキストのコピーなどができます。また、ファイルをメールで送信したり、表示についての設定などができます。

電卓を使う

電卓を利用して、四則演算(＋、－、×、÷)やパーセント計算、sin()、cos()、tan()などが計算できます。

1 ホーム画面で→「電卓」

四則演算画面が表示されます。

2 計算する

- 数式を入力する部分をタップすると、カーソルを移動できます。
- 「CLEAR」をタップすると、文字や計算結果が消去されます。
  「CLEAR」をロングタッチすると、表示されている数式および計算結果が消去されます。

memo

◎四則演算画面と関数画面で→「関数機能」／「標準機能」をタップしたり、入力キーが表示されている部分を左右にフリックすると、四則演算画面と関数画面を切り替えることができます。
◎数式や計算結果が表示されている部分を上下にフリックすると、計算式の履歴を確認できます。
◎数式や計算結果をロングタッチして選択状態にすると、数式や計算結果を切り取り／コピー／貼り付けができます。

指定時刻にアラームを鳴らす

曜日ごとに時刻を指定してアラームを鳴らすことができます。
アラーム設定時刻になるとアラーム通知画面が表示され、設定したアラーム音や振動でお知らせします。

1 ホーム画面で→「スッキリ目覚まし」

アラーム画面が表示されます。

2 「目覚ましの設定」

3 アラーム時刻やその他の項目を設定

4 「保存」

memo

◎アラーム通知画面で「停止」をタップすると、アラームおよびスヌーズを停止できます。
アラーム通知画面で「スヌーズ」をタップすると、一定時間後に再びアラームが鳴ります。

アラームの設定を変更する

1 アラーム画面で変更するアラームをタップ

2 アラーム時刻やその他の項目を設定

・「削除」→「削除」をタップすると、アラームを削除できます。

3 「保存」

memo

◎アラーム画面でアラームアイコンをタップすると、アラームのオン／オフを切り替えることができます。

スッキリ目覚まし機能を利用する

睡眠状態を検出し、目覚めるのに快適なタイミングでアラームを鳴動させることができます。

・十分に充電を行った状態で使用してください。

1 アラーム画面でオンに設定されているアラームの「スッキリ」にチェックを付ける

・注意文が表示された場合は、「OK」をタップしてください。

モシモカメラを利用する

モシモカメラで動画や静止画を撮影して「もしもみんながキラキラ輝いたら？…」の空想をISW11Fで試すことができます。

1 ホーム画面で →「モシモカメラ」

2 「ビデオ」／「写真」

3 エフェクトをタップ

4 動画または静止画を撮影

5 （保存）

・「ビデオ」を選択した場合は、撮影後そのまま保存されます。

memo

◎被写体の動きや顔を自動的に検知して、キラキラなどのエフェクトを付けることができます。

◎検知する内容や付加する内容は、エフェクトによって異なります。エフェクトによっては被写体が動いていない場所が変化する場合もあります。

モシモカメラの使いかたを見る

1 ホーム画面で →「モシモカメラ」→「使い方」

2 画面を下にスライドして、撮影のしかたや顔検出についての注意などを読む

「使い方ダイジェストを観る」をタップすると、使い方ダイジェストが再生されます。

au one ナビウォークを利用する

au one ナビウォークは、電車、飛行機、バスなどさまざまな交通手段に対応したルートを案内する総合ナビゲーションサービスです。位置情報(GPS情報)を利用して目的地までナビゲーションするトータルナビや、電車の乗換案内などを利用できます。

- au one ナビウォークを利用するには、パケット通信接続または無線LAN(Wi-Fi®)接続が必要です。また、一部の機能を利用するにはISW11Fにau one-IDを設定する必要があります。詳しくは、「au one-IDをISW11Fに設定する」(▶P.77)をご参照ください。

1 ホーム画面で→「ナビウォーク」

2 項目を選択

memo

◎お買い上げ時はGPS機能を使用しない設定になっています。GPS機能を使用する設定については、「現在地情報の検索方法を設定する」(▶P.194)をご参照ください。GPS機能については、「GPSの設定をする」(▶P.194)をご参照ください。
◎通話中は、au one ナビウォークをご利用いただけません。

au one ナビウォークを設定する

自宅やよく行く目的地を登録したり、ルート検索の条件を設定できます。

1 ホーム画面で→「ナビウォーク」→「More」→「設定」

2 必要な項目を設定

au one ニュースEXを利用する

au one ニュースEXでは、最新のニュース・天気・占いなどの最新情報を確認することができます。

- ご利用いただくには、アプリケーションのインストールが必要です。
- 一部の機能を利用するにはISW11Fにau one-IDを設定する必要があります。詳しくは、「au one-IDをISW11Fに設定する」(▶P.77)をご参照ください。
- au one ニュースEXのすべての機能を利用するには別途お申し込み(情報料有料)が必要です。

1 ホーム画面で→「ニュースEX」

- 初回起動時にはインストールの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールし、各種設定を行ってください。

au one ニュースEXのメニューを利用する

1 ホーム画面で→「ニュースEX」→(≡)

2 必要な項目を設定

更新		ニュースと天気を更新します。
一括取得		情報を一括取得します。
設定	地域の設定	表示する地域を設定します。
	星座の設定	表示する星座を設定します。
	表示の設定	カラーや文字サイズを設定します。
	超速報のPush通知設定	超速報のPush通知に関する設定をします。
	超速報の鳴動設定	超速報がある場合の動作について設定します。
	省電力設定	省電力の設定をします。

設定	カスタム設定	データ取得間隔などを設定します。
	キャッシュを削除する	サイト閲覧時に保存したページデータ(キャッシュ)を削除します。
利用規約		au one ニュースEXの利用規約を表示します。
ヘルプ		ヘルプを表示します。
その他		その他の各種設定を行います。

memo

◎データの取得間隔が短いほど最新の情報を取得できますが、電池の消耗が早まります。

KSfilemanagerを利用する

KSfilemanagerは、内蔵ストレージやmicroSDカードのフォルダやファイルを表示して、データのコピーや貼り付けなどに利用できます。

1 ホーム画面で▦→「KSfilemanager」

- ⌂をタップすると、内蔵ストレージ内のフォルダー覧が表示できます。
- フォルダやファイルをロングタッチして、コピーをタップすると、クリップボードにフォルダやファイルがコピーされます。クリップボードにコピーできるのは1件のみです。
- クリップボードのデータをmicroSDカードへ保存するには、KSfilemanagerの▭をタップして、microSDカードのフォルダー覧を表示して、貼り付けたいフォルダを表示して〔≡〕→「貼り付け」をタップします。

memo

◎Eメール(～@ezweb.ne.jp)でバックアップしたEメールは、KSfilemanagerで⌂→「private/」→「au/」→「email/」→「BU/」→「DR/」(未送信メールフォルダ)／「RE/」(受信メールフォルダ)／「SE/」(送信メールフォルダ)とタップして確認できます。確認したフォルダやファイルをmicroSDカードに保存するには、上記コピー操作および貼り付け操作を行います。